日本商工会議所第１３６回簿記検定試験

２級合格者（平成２６年　２月２３日実施）

黒　木　　優　香　２年（勝田二中）

大井川　　龍　成　２年（千波中）

河　合　　佳　吾　２年（見川中）

《参考》

“水戸地区の合格率46．7％ ”“KEIMEI 合格率60％ ”

各級のレベル

１級	税理士、公認会計士などの国家試験の登竜門。大学程度の商業簿記、工業簿記、原価計算並びに会計学を修得し、財務諸表規則や企業会計に関する法規を理解し、経営管理や経営分析ができる。
２級	高校程度の商業簿記および工業簿記(初歩的な原価計算を含む)を修得している。財務諸表を読む力がつき、企業の経営状況を把握できる。相手の経営状況もわかるので、株式会社の経営管理に役立つ。
３級	財務担当者に必須の基本知識が身につき、商店、中小企業の経理事務に役立つ。経理関連書類の読み取りができ、取引先企業の経営状況を数字から理解できるようになる。営業、管理部門に必要な知識として評価する企業が増えている。